

# 全拉致被害者の即時一括帰国 を求める国民大集会

10月4日、石破茂新総理大臣が行った所信表明演説の中で、拉致問題については、「拉致被害者やそのご家族が高齢となる中で、時間的制約のある拉致問題は、ひとときもゆるがせにできない人道問題、国家主権の侵害であり、政権の最重要課題です」と述べました。

「時間的制約のある人道問題」という表現は「親の世代の被害者家族が存命のうちに拉致被害者を返せ、それをしないと日朝関係は最悪になる」というメッセージです。これは岸田政権が初めて表で使った表現ですが石破総理はそれを踏襲しました。私たちが反対している日朝に連絡事務所設置案についての言及はありませんでした。

石破総理は総選挙遊説の合間を縫って10月17日に家族会・救う会と面会しました。そこでも、連絡事務所の話は出さず、2002年9月17日に初代の拉致議連会長として、横田さんご両親が政府からめぐみさんの死亡通告を受けた席に同席していて、そこで母早紀江さんが発した「めぐみは生きている」という言葉を今も忘れられず、それが自分の「拉致問題に対する思いの一番強い原点だ」と語り、拉致は単なる誘拐でなく、主権侵害だと繰り返し強調しました。

西岡力救う会会長は石破総理に、来年前半に最後のチャンスが来ると思う、それを逃さず親の世代の被害者家族が存命のうちに全被害者を救ってほしいと話しました。

今回で総理面会はなんと13人目です。なんとしても早期に全拉致被害者の即時一括帰国を実現させなければなりません。そのためにはオールジャパンで被害者を返せという声を大きくする必要があります。

今こそ、全拉致被害者の即時一括帰国を求める怒りの声が必要です。北朝鮮が注目している国民大集会に救出のシンボルのブルーリボンバッジをつけてお集まりください。

## 令和6年11月23日(土) 午後2時～4時 シェーンバッハ・サポー



と き 令和6年11月23日(土) 午後2時から4時まで

開 場 午後1時(先着順)

と ころ 砂防会館別館1階、シェーンバッハ・サポー

東京都千代田区平河町2-7-4 TEL: 03-3261-8386

地下鉄永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口徒歩1分

5番出口(都道府県会館前)はエレベーターあり

赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)が永田町駅に接続

登壇者 司会: 櫻井よし子、石破茂総理大臣(要請中)、  
林芳正官房長官・拉致問題担当大臣(要請中)、  
家族会・救う会代表、拉致議連代表、知事の会代表、地方議連代表、  
各党代表、特定失踪者家族会代表

参加費 無料(会場カンパ歓迎)

✂ キリトリ線

◆国民大集会参加票 警備上の必要のため、当日ご持参を。

お名前		電 話	-	-
住 所	〒			
同伴者(同居されている方) お名前				

## ◆横田早紀江さんの東京連続集会（10/4）での挨拶

### ◆今なお続いている拉致 横田早紀江（横田めぐみさん母）

拉致問題は、本当に考えられないような大きな問題でありまして、もう47年と考えられない程長い年月で、人の一生のような長い年月が経っています。

何にも悪いことをしていない子が、学校から帰ってくる途中で、車で連れ去られ、船で北朝鮮に連れていかれたまま、考えられない日々が過ぎてしまいました。

何にも分からない。煙のように消えたまま、20年の間全く分かりませんでした。どうして、どこに消えたのだろう。何も残っていない。足跡もない。私たちは子どもたち二人を連れて、近くの護国神社や海岸を泣きながら探しまわって、「めぐみちゃん、めぐみちゃん」と叫びながら、毎日のように探していました。

警察も一生懸命探してくれましたが、何にも分からないことが不思議で、北朝鮮に拉致されたことが分かった20年後は、私たちは狐につままれたような感じで、何という人生なんだろう、何だろうこれはという苦しい中を、みんな力を合わせて、たくさんの方に助けていただけて生きてくることができました。

北朝鮮に行っていた。そして曾我さんとか、蓮池さんとか、たくさんの日本の若い方々が向こうに連れていかれて帰ってこられないことが明らかになって、信じられないような思いでした。

こんなことがあっていいのかな、と。それが今なお続いているのです。一部の方は帰ってこられましたが、金正日に許されて帰ってきましたが、後の人たちは「死亡した」と言い続けてここまで来ています。

### ◆「日本はこんな姿でいいのですか」と総理に

私たちは色々な希望を持っています。（拉致被害者は）あちらで学ばされて、一生懸命政権を支えているのだろうと、私は思うことにして、「必ず助け出してあげます」と、そのことだけを考えて今日までやってくることができました。

本当に日本中のたくさんの方々が、ひどい話ですが、さらわれていったままです。謝ることもなく、また報酬の種にしようと思っているようです。本当に恐ろしいことだと思います。

世界中がこのことを知ることができるようになったのも、（救出）活動のおかげで、皆様のご支援のおかげです。この大きなことを全世界が知ることになったことに、感謝しています。

あきらめずに、今度の石破さんに、祈る思いで、力一杯頑張ってくださいと思っています。「日本はこんな姿でいいのですか」と私は思わず、（石破総理に）言ってしまいましたが、「本当に何十年も放っておいていいんですか、外から見たら恥ずかしいことですよ」と言いましたが、そうお思いになると思います。

お子様がいる皆様も同じ思いだと思います。人間の根源を蹂躪していることです。向こう（拉致被害者）も待っているといますから、「必ず取り返す」という思いを秘めて戦ってほしいと思います（拍手）。

警備の都合上、大きな荷物、長い棒、団体の旗、スピーカーは持ち込まないでください。  
特定団体の制服での参加もご遠慮ください。

石破首相に全拉致被害者の即時一括帰国の実現を求める、はがき・メールを！

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1内閣総理大臣 石破茂殿  
首相官邸のホームページ=<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用

11/23 国民大集会

**主催** 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 横田拓也）  
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）  
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 古屋圭司）  
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 黒岩祐治）  
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

**事務局** 救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905  
電話03-3946-5780 FAX03-3946-5784 担当＝平田隆太郎  
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

**募金先** 郵便振替口座 00100-4-14701「救う会」／ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701  
みずほ銀行 池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒラタ リュウタロウ）